**●『個人番号検査用数字を算出する算式』**

 個人番号は数字12桁で、先頭からの11桁は、住民票コードから生成される番号になっている。その末尾の1桁が、検査用数字（チェックデジット）となっていて、先頭から11桁の数字より次のように計算される。

**｛総務省令第八十五号　第五条｝**より算式を抜粋

　11－$（\sum\_{n=1}^{11}Pn×Qn$を11で除した余り）

ただし、$\sum\_{n=1}^{11}Pn×Qn$を11で除した余り<=１の場合は0とする。

\*P𝑛　個人番号を構成する検査用数字以外の11桁の番号の最下位の桁を1桁目とした時の$n$桁目の数字

\*Q𝑛　1<=$n$<=6の時　$n$＋1　、　7<=$n$<=11　の時　$n$－5

 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

＜計算手順は以下のようになります＞

1. P1（2桁目の数字に該当）にQ1(1＋P6(7桁目の数字))×7

P7(8桁目の数字)×(7ｰ5＝2)　　\*Q𝑛は7<=$n$<=11　の時には$n$－5

P8(9桁目の数字)×3

P9(10桁目の数字)×4

P10(11桁目の数字)×5

P11(12桁目の数字)×6

以上の総和を求める。

1. 総和を「11」で割って 余りを求める。
2. 「11」よりその余りを引いた値がチェックデジットとなる。

<計算例> ﾏｲﾅﾝﾊﾞｰが　123456789018　の場合

(1×2)+(0×3)+(9×4)+(8×5)+(7×6)+(6×7)+(5×2)+(4×3)+(3×4)+(2×5)+(1×6)

=2+0+36+40+42+42+10+12+12+10+6=212

212／11＝19 余り3

11－3 ＝ 8 　∴ チェックデジットは｢8｣

・前提：12桁の番号で、12桁以下の番号は、前に「0」がついているものとする

・余りが0又は1又は11の場合はチェックデジットを「0」とする

　※余りが0または1の場合は「11－0＝11」となり、2桁になるのでCHOOSE関数でチェックデジットを「0」に変更。

〇チェックデジットを算出するエクセル計算式

　（セルA1にマイナンバーを入力すると、この式が入力されたセルにチェックデジットが表示されます）

=CHOOSE(11-MOD(SUMPRODUCT(MID(TEXT(A1,"000000000000"),{1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11},1)\*{6,5,4,3,2,7,6 ,5,4,3,2}),11), 1,2,3,4,5,6,7,8,9,0,0)

■給与計算ソフト等には既にこの計算式が組み込まれ、入力間違いの場合はエラー表示されると思われます。しかし、ソフトがマイナンバー対応に更新されるより前にデータとして作っておきたい場合、または、この計算式が組み込まれていないソフトを利用する場合には、付属のｴｸｾﾙｼｰﾄを活用し、保管していただければと思います。暗証番号はファイル名に続いています。ファイル名、パスワードを変更の上ご利用下さい。

①左上の丸いオフィスボタンをクリック

⇒②「配布準備　E」→「ドキュメントの暗号化　E」を選択しクリック

⇒③パスワード欄が●●●●となっているので、これを削除し任意のパスワードを入力

⇒④確定後に再入力を求められるのでもう一度入力

⇒⑤その後保存します。

法人番号は先頭の左端の数字が検査用数字になります。以下のように算出します。

**●『法人番号検査用数字を算出する算式』**

法人番号は数字13桁で、先頭の数字が「0」になることはなく、必ず13桁となる。

先頭の数字は1〜9の検査用数字（チェックデジット）となっていて、それ以外の12桁の数字(基礎番号、商業登記法に基づく会社法人等番号)から次のように計算される。

**財務省令第七十号　第二条｝**より算式を抜粋
９－（　$\sum\_{n=1}^{n=12}Pn×Qn$　を９で除した余り）
算式の符号
P𝑛　基礎番号の最下位の桁を１桁目としたときの𝑛桁目の数字
Q𝑛　𝑛が奇数のとき　１、𝑛が偶数のとき　２

･･････････････････････････････････････････････････････････

＜計算手順は以下のようになります＞

・先頭の数字を除いた12桁の番号を右端の桁から取り出して、その桁が奇数ならば「1」、偶数ならば「2」を乗じる。

・これらの総和を求める。

・総和を「9」で割って余りを求める。

・「9」からその余りを引いた値がチェックデジットとなる。

　　（こうすることで1から9までのいずれかの整数になります)

<計算例> 法人番号が　7123456789012　の場合

(2×1)+(1×2)+(0×1)+(9×2)+(8×1)+(7×2)+(6×1)+(5×2)+(4×1)+(3×2)+(2×1)+(1×2)=2+2+0+18+8+14+6+10+4+6+2+2=74

 74／9 ＝ 8 余り2

 9－2 ＝ 7 　　　∴チェックデジットは｢7｣

〇チェックデジットを算出するエクセル計算式

（セルA1に法人番号を入力すると、この式を入力したセルにチェックデジットが表示されます）

＝9－MOD(SUMPRODUCT(MID(TEXT(A1,"0000000000000"),{2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13},1)\*{2,1,2,1,2,1, 2,1,2,1,2,1}),9)

■この法人番号ﾁｴｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄの利用機会が少ないと思います。

必要な法人番号や法人名、住所等はインターネットで公表される予定で、直接ダウンロードが可能なので、法人番号を直接入力する機会は少ないでしょう。

ただし、現在会社内で取引先法人に振り当てている番号を、法人番号に切り替えるのであれば、必要となるでしょう。

エクセルでもVLOOKUP関数を使えば、法人番号を入力するだけで住所、会社名等を呼び出せるシート作れそうです。残念ながら日本の法人数はH25年で約260万。EXCEL2007、2010のシートの最大行数は約104万行。全国の法人データを1つのシートにはまとめられません。データは分割されているでしょうから、使用頻度の多い地域のデータを利用するしかなさそうです。一つにまとめるにはACCESSなどデータベースソフトが必要でしょう。